

### 3分で読める経営お役立ちホワイトペーパー あなたの名刺、データ化してもらえてますか？

#### ■ 名刺の存在自体の意味が変わってきた

ビジネス・コミュニケーションでの最初のシーンでの名刺交換。  
最大の目的は、自分のことを覚えてもらうことでしょう。  
ですから紙質、色、デザインを工夫する経営者さんも多いはずです。

10年位前までは、  
デスクの名刺整理箱に会社名や個人名でアイウエオ順に整理されていて、  
何かあったときや思い出したときに引っ張り出す。  
逆に言えば、あなたのことを思い出してもらったときに引っ張り出してもらう。  
例えば「〇〇さんの名刺は、真っ赤だったな」などで、  
すぐに名刺整理箱から見つけてもらうための努力をしてきたわけです。

が、最近の状況は変化してきました。  
大袈裟ではなくて、名刺交換の目的すら変わってきたと言い切ってもいいかもしれません。  
最近では、スマホのカメラや専用マシンでスキャンして、アプリでデータ管理することが多くなりました。  
つまり、名刺交換のときに顔と名前を覚えてもらうのではなくて、  
正しくスキャンしてもらうことが重要になってきました。  
データ化してもらえれば何かのときにデータを引っ張り出してもらえ、  
定期的な情報を受け取ることができたりなどで、ビジネスが広がっていきます。

#### ■ スキャンしにくい名刺は、データ化してもらえない

自分で名刺をスキャンしたことがある人は分ると思うのですが、  
名刺にカメラをかざして一発できちんとスキャンできないと、これが結構なストレスになります。  
2回も3回もチャレンジしてダメだった時はたいていが後回し、  
ときには二度とスキャンし直すこともありません。

逆の立場、名刺を渡してスキャンしてもらう方からすると、  
「二度とデータ化してもらえない」さらに言いますと、今の時代では、  
『二度と思い出してもらえない』ということに成りかねません。

## ■ 自動補正で正しくデータ化されないこともある

ほとんどの名刺管理アプリは、スキャンデータを自動で読み込む（自動補正）機能がついています。その機能は年々向上していますが、それでも正しく読み込んでもらえないことがあります。表裏の両面をスキャンしたときには、会社情報は表面からデータ化、裏面は画像として保管するだけというアプリが多いです。

### ここが『キモ』

自動で読み込み、自動で補正するのは、人間ではないということです。当たり前といえば当たりの話ですが、「社会人だったらそれくらいはわかるでしょ…」が、通用しないところがあります。

## ■ 今の時代、こんな名刺は危険

これまで、1,000枚以上をスマホカメラでスキャンしてきました。一枚一枚をスマホカメラでスキャンする方の立場から、「こんな名刺はスキャンしにくいから後回し」や「こんな名刺だと正しくデータ化してもらえない」をまとめてみました。

### ここが『キモ』

相手に渡すのはたった一枚の名刺ですが、その一枚が正しくデータ化してもらえないとしたら、何百枚も刷った名刺が全てデータ化してもらえないかもしれません

- ・ 名刺台紙に光沢があって、蛍光灯が反射してしまう。白以外の台紙。
  - 光った箇所が正しく読み取れないことがあります。一般的な白い普通の紙がベスト。
- ・ 表に名前だけ書いてある。
  - 「住所や電話番号は裏面」という名刺は、自動で全てをデータ化されないことが多い。
  - つまり、自分で名刺を見ながら入力しなければいけないから、後回し。
- ・ 名前が手書きの文字でデザインされている。
  - デザイナー等の方は、自署のデザインを入れることがあります。
  - デザインチック、スタイリッシュなものは、文字認識してもらえないことがあります。
- ・ 会社名の近くに色々と書いてある。

- 例えば会社名の横に企業理念やキャッチコピーが書いてあると、それらを合わせた会社名と認識されることがあります。
- 特殊なフォントを使っている。
  - 日本語や数字は OK でも、アルファベットは正しく読み込まれないことがあります。  
例えば、「i」と「j」や「h」と「n」です。
- 情報量がやたらと多い。
  - 読み込むのは「人間」でなくて「機械」ですので、情報量が多いとどれが会社名でどれが人の名前なのかを認識できないことがあります。
  - 例えば、キャッチコピーが会社名や氏名としてデータ化されてしまうことがあります。
- 顔写真はあった方が良い。
  - 「この会社のこの人、どんな人だったっけな？」と思い出してもらうときに、顔社員の画像があった方がより思い出してもらいやすくなります。
- 裏面は英語バージョンでなく簡単な会社案内がよい。
  - 会社名だけで事業内容をすぐに思いつかないことがあります。
  - 裏面を会社案内にしておけば、すぐに事業を確認してもらえます。
- 折り畳みタイプ
  - 例えば折り畳みで 4 面タイプだと、全てをスキャンできません。

【作成者】  
株式会社 e-Day  
BIZIN & BIZIN+  
mail : info@bizin.jp